

表情カード

45種類の表情が記載された、表情ポスターのカード版です。おもて面には表情のみ、裏面には表情と、その表情があらわす気持ちの目安が記載されています。カードの1枚ずつに異なった表情が描かれており、また、カード形式でサイズも小さく、個別での対応に適しています。多くの表情の中から一つを選ぶのが難しい場合には、感情のカテゴリー別に数枚を選び、2択、3択で今の気持ちを選んでもらうこともできます。



使い方

基本的な使い方は、「表情ポスター」と同じです。こちらはカード形式ですので、今の気持ちのカードを何枚か選んで並べたり、カードを並べ替えることによって、気持ちの変化を視覚的に理解することもできます。

また、グループ活動として、それぞれのカードの気持ちになった時のエピソードを話し合ったり、相手が悲しい気持ちや怒っている気持ちの時には、どういう表情で答えてあげるといいのかなどを話し合うこともできます。

活用場面

●スクールカウンセリングや特別支援の個別指導の際のコミュニケーションに。

こんな使い方も…

- ・カードの顔まねをしながらアイスブレーキング、緊張をほぐします。
- ・カルタ形式にして、引いたカードの表情に合ったセリフをつけることで、自己理解を深めます。



¥2,940 (税込)

表情カード 45枚
説明書 (使用例付)
寸法 / カード : 90 × 120mm
外箱 : 101 × 131 × 38mm

監修 : 本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者 : 本田 恵子・鈴木 真理 (臨床心理士)

インタビュー

してきました。

表情ポスター

インタビューに答えてくださったのは、
中学校カウンセラーさんです。

登校しぶりがある子に、表情ポスター
を使いました。

学校の何がイヤなのか、今・朝・昨日の夜、と場面を区切って気持ちを整理していくことにしたのです。そうすると、その子は1時間目が一番緊張するということがわかりました。緊張するとトイレに行きたくなってしまい、それが心配の種になっていたようです。それから、どうしたらよいかと解決策を出し、その子は少し落ち着けたようでした。登校しぶりがすくなくなつたわけではないけれど、気持ちを整理し何がイヤだったのか原因がわかったことで、良い手立てを考える事ができました。

わたしは、最近自分の気持ちがわからない子どもが増えているような気がします。感情の分化が上手になされていないので、気持ちを言葉にするのが苦手、また表現する言葉を知らないように感じています。

